

学校キャラバン

IN 長崎工業高等学校

令和5年2月13日

建専連九州



第3弾 長崎工業高等学校出前授業

実施日：令和5年2月13日（月）

参加者：長崎県立長崎工業高等学校 定時制 建築科 12名（3年生8名、2年生4名）

主催者：長崎県教育委員会（キャリア教育セミナー事業により実施）

共催者：九州竹和会、建専連九州

【カリキュラム】

時間	内容	実施者
17:45~19:45	型枠組立 コンクリートを流し込むための型枠を作ります	(有)田中建設

作業体験



九建日報 令和5年2月15日

長崎工業高生徒に型枠授業 県教育委員会らセミナー開催

【長崎】長崎県教育委員会は13日、令和4年度産業エキスパートセミナー（キャリア教育セミナー事業）を長崎工業高等学校で開催した＝写真＝。同校定時制の建築科2年生と3年生11人が、型枠の製作、組み立て作業を学んだ。

産業エキスパートセミナーは、企業から講師を招へいし、産業界の変化に対応できる人材の育成と産業教育の振興、充実を図るもの。また、技術講習を通して、求められる人材や必要とされる資質を知るとともに、将来の進路を考え、日ごろの学習に対する取り組みを改める機会とする。

今回は九州竹和会と建設産業専門団体九州地区連合会との共催。九州竹和会の田中聡氏（㈱田中建設代表取締役）とその社員2人が講師として参加した。

セミナー前に㈱竹中工務店九州支店調達部の坂本克也基盤・情報グループ長は「講師は実際に現場で作業されており、教えることも非常に上手。積極的に学んでもらいたい」、九州建専連の長濱弘樹事務局長は「熱心に型枠作業を体験してもらい、将来の進路選択の一つになれば」などと呼び掛けた。

セミナーでは、田中氏が建築における型枠の役割、組み立て方法などを説明した後、施工作業を実演。生徒らもハンマーやドリルを手にとって、講師の指導を受けながら、柱や梁の型枠を組み立てていった。

セミナー後、田中氏は「若い人が入職して、型枠大工の道に進んでほしいという思いで参加した。少しでも興味があれば、就職先の一つとして考えてもらいたい」と生徒らに話していた。

